グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
現代社会	2 単位 現代日本	社会学	石井 幸夫	2年次	春

授業のキーワード	労働、家族、女性
	戦後日本社会の中で労働概念、家族概念がどう変遷してきたかを、女性を軸に明らか
授業の概要	にし、これにより一方で人間にとっての労働、家族とはどのようなものか、他方で社
	会学の見方はどのようなものなのかを講義します。
	以下の点の(概略的な)理解を確立すること。
期待される学習成	1.現代日本の(特に女性の)労働概念、家族概念
果(目標) 2.戦後日本社会の変遷	
	3.社会学的視点の固有性

授業展開

	テーマ	内容		テーマ	内 容	
第	労働と愛	労働と愛の社会的機能	第	高度経済成長期以後	女性のライフコース決定 子供の介護(子供概念の変化)2;少子	
1 講			9講	70-80年代の日本社会について4	化	
第 2	戦後高度経済 成長期 50-60 年代の日本社 会について1	女性労働力率の低下、人口爆発	第 10	高度経済成 長期以後 70-80年代の 日本社会に	女性のライフコース決定 子供 の介護(子供概念の変化)3;少子 化(続)	
講	戦後高度経済	少子化、人口ボーナス、高度成	講	日本社会に ついて 5 高度経済成	女性のライフコース決定 子供	
第 3 講	成長期 50-60 年代の日本社 会について 2	長	第 11 講	長期以後70-80年代の日本社会について6	の介護(子供概念の変化)4;少子 化(続々)	
第 4 講	戦後高度経済 成長期 50·60 年代の日本社 会について 3	まとめ(家族革命)	第 12 講	高度経済成長期以後 70-80年代の日本社会について7	女性のライフコース決定 まとめ	
第 5 講	小試験	小試験	第 13 講	現代 90 年代 以降の日本 社会につい て1	グローバル化	
第 6 講	高度経済成長 期以後 70-80 年代の日本社 会について 1	女性のライフコース決定 夫の 所得 1; ダクラス-アリサワの法 則、同類婚	第 14 講	現代 90 年代 以降の日本 社会につい て 2	非正規雇用化	
第 7 講	高度経済成長 期以後 70-80 年代の日本社 会について 2	女性のライフコース決定 夫の 所得2;女性労働力率と学歴との 関係、世帯間所得格差の平準化	第 15 講	現代 90 年代 以降の日本 社会につい て3	新しい労働概念、まとめ	
第 8 講	高度経済成長 期以後 70-80 年代の日本社 会について3	女性のライフコース決定 子供の介護(子供概念の変化)1;エンゲル係数とエンゼル係数、少年非行問題	5	定期試験	講義内容に関する記述試験を行います。	
	定期試験 (70%)、小試験 (30%) 評価方法 レポート、リアクションペーパーは随時加減点。出席状況、授業態度は貢献度として評価。					
	使用する教科書 (必ず購入してください)			参考文献		
		ハンドアウトをダウンロード形				
式	で配布します。					